NEWS RELEASE

２０２５年６月３日
岡山放送株式会社

視覚障がい者への情報バリアフリー活動
生活情報紙150記事の音訳化を達成

報道関係各位

岡山放送株式会社（本社：岡山市北区下石井二丁目10-12 、以下OHK）は、2021年より視覚障がいなどで読書が困難な方に向けて地元の生活情報フリーペーパー「さりお」の記事を音訳する活動に取り組み、このほど150記事の音訳化を達成しました。

音訳とは、視覚障がい者など文字が読みにくい人のために音声で情報を提供する活動で、図書や新聞などの文字情報を朗読・録音する作業までを指します。OHKは“情報から誰一人取り残されない” 社会の実現に向け、2021年より「さりお」を発行する山陽リビングメディア株式会社と協力し、毎月「さりお」の中から記事を抜粋し 、OHKアナウンサーが朗読を担当、データ化した音声を岡山県視覚障害者センターへ寄贈しています。5年が経過した現在も、毎月岡山県視覚障害センターでCD化され、希望者と岡山県立図書館、岡山・倉敷市立図書館、岡山盲学校、岡星寮（支援施設）などに配布され、視覚障がい者と地域を繋ぐ役割を果たしています。

開始当初から自宅で音訳を聴いている鈴木鈴子さん（岡山市北区）は、「防災情報など知らないことが多く役に立っている。読者投稿コーナーも微笑ましい。アナウンサーによって声のトーンや読み方が変わるのも個性的で良い。OHKの番組でアナウンサーの声を聞くのが楽しみになった」と話しています。

音訳を楽しむ鈴木さん（写真左）と
岡山県視覚障害者センター柴所長

また、岡山県視覚障害者センターの柴典昭所長は、「生活に密着した情報を、プロのアナウンサーが届けてくれるのは素晴らしい取り組み。ぜひ続けてほしい」と今後の活動に期待を寄せています。

担当する藤本紅美OHKアナウンサーは「“声で伝える”、“声で相手の心に届ける”ということは決して簡単ではありません。しかし、活字を読むことが困難な方にとって、少しでも心やすらぐひと時になってほしいとの思いで音訳活動を続け、今年で5年目を迎えました。今後も情報の繋がりを通して、心豊かに暮らせる社会になることを願っています」としています。

OHKは今後も情報のバリアフリー社会の実現に向けて取り組むとともに、誰もが心豊かに暮らせる社会づくりに貢献してまいります。

【本件に関する問合せ】岡山放送株式会社 企業広報担当 原田
TEL ０８６-９４１-８８８１